



上郷の丘

上郷中だより第26-9号
平成26年11月28日
横浜市立上郷中学校
横浜市栄区犬山町6-2
電話(892)2478

校長 吉田 直史

11月4日(火)生徒会朝会が行われ、後期の生徒会各委員長から話がありました。その中から各学年の学級委員長と選挙管理委員長の話を紹介します。

3年学級委員長	3年 渡邊 翔太 さん	福祉委員長	2年 出口 勇輝 さん
2年学級委員長	2年 中島 裕介 さん	放送委員長	2年 北川 俊斗 さん
1年学級委員長	1年 染谷 祐太 さん	図書委員長	2年 板倉 基明 さん
保健美化委員長	2年 小林 由奈 さん	生活委員長	2年 竹内 朝音 さん
選挙管理委員長	3年 渡邊 ひかり さん		

みんなが笑顔で卒業するという意味を込めて「笑顔で駆け抜けよう」を目標に活動していきます。

(3年学級委員長)

学年で起こっている色々な問題に対して、全員でたくさんの意見を出し改善を図り、今よりさらに良い学年にしたいと思っています。

(2年学級委員長)

「2年生に向けて、みんなが笑顔で楽しく過ごせるように」を目標にクラス・学年をまとめられるように頑張りたいです。

(1年学級委員長)

来年度は統合の1年目で不安なこともたくさんあると思います。新役員には、その不安を少しでも解消してくれることを期待します。どの学年も新しい上郷中学校の未来を託せるように、協力をお願いします。

(選挙管理委員長)

生徒会各委員会が委員を中心に全校生徒の協力の下、活発な取組がされることに期待をしています。

11月10日(土)の土曜参観には、多くの保護者の皆様に来校いただき、感謝申し上げます。また、参観後のアンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。

【アンケート結果】

質問項目	平均値(4段階)
①生徒たちは積極的に学習に取り組んでいる。	3.3
②生徒たちは仲間と助け合って学習している。	3.3
③教師はわかりやすい授業を心がけている。	3.6



〈土曜参観の様子〉

保護者の皆様から「楽しくわかりやすい授業でした。」「皆、笑顔で生き生きと参加していてよかった。」「理解できた子がみんなでお話しする姿勢に感動しました。」「全体道徳では真剣に話を聞いていてよかった。」「今後も一人ひとりと向き合う姿勢を大切に、よい集団生活が続くようにお願いします。」などの感想やご意見をいただきました。

「階段のゴミが気になった。」「理科の実験での安全配慮について」のご指摘を受けました。また、統合中間報告会の開始時間が配布された文書の時間より5分早く始まっていたというご指摘も受けました。申し訳ありませんでした。

～栄区個別支援学級合同宿泊学習会 11月13日（木）・14日（金）～

4・5組では、愛川ふれあいの村に行ってきました。栄区各中学校の4・5組の生徒、計40名が参加しました。

1日目は、ディスクゴルフや木の名前当てラリー、夜の集い（レク）を行い、二日目は朝の集い（ラジオ体操・ランニング）、スポーツ活動（サッカー）などを行いました。2日間を通して、違う学校の友達とも仲良くなり、班の仲間と協力し、楽しい経験をすることができました。また、今までの交流会中の係会議で決められた自分の係の仕事をしっかりと果たすこともできました。「友達を増やし、たくさんの楽しい経験をしよう」「自分の周りのことを一人でもできるようになろう」「友達と力を合わせて行動しよう」「自然の中で元氣よく体を動かそう」という4つの目的を十分に果たすことのできた宿泊学習となりました。



〈スポーツ活動の様子〉



〈朝の集いの様子〉



〈夜の集い（レク）の様子〉

～1 学年認知症理解 講話 11月17日（月）～

上郷中学校体育館にて、桂台ケアプラザのご協力により“認知症の正しい理解と支援についての講演”を持ちました。当日は聖ヶ丘教育福祉専門学校 木田茂樹氏と認知症キャラバンメイト 宮地和子氏の二人を講師に、以下のようなお話をいただきました。

- ・今すぐ何かをできなくてもいい。知ろうとしていくことが大事だということ
- ・お互いを認めあい、尊重しあっていくことが、社会の中に「居場所」を作ること
- ・だれもが安心してらせる街づくりのため、地域の人々を支える人間杖になってほしい

これからの社会を構成していく一人の人間としてお話をいただき、子どもたちもこれらのことを真剣に考えることができました。認知症についての理解を深め、自分たちがこれから考えていくべき課題であると認識を深めました。

〈木田茂樹氏の講演の様子〉



〈宮地和子氏の講演の様子〉



～専門委員会（学級委員会）で話し合われた 各学年の様子についてのまとめ 11月17日（月）～

1 学年	文化祭を終えて、各クラスで色々な面で成長が見られる。クラスの絆が強くなったり、団結力がついたり、仲間を大切にできるようになった。中学校で初めて経験した文化祭で、クラスの課題を乗り越えたり、今までよかった面がさらに成長したりしているように感じる。
2 学年	昨年度の経験を活かし、文化祭の準備から発表までの過程から成長することができた。次は、学習面に力を入れていこう！という思いも強く、より一層集中して授業に取り組みたい。また、ルールを守って、全員で声かけをして過ごしやすい学年にしたい。
3 学年	大きな行事が終わり、息つく間もなく、定期試験に向けて学習をはじめどのクラスも高い意識を持って授業に取り組んでいました。また、行事を終えて、クラスの絆や団結力が強まりました。これからは、進路に向けてクラスで協力し合いながら乗り越えていきたい。

～小中一貫教育ブロック 授業研究会 11月20日（木）～

上郷中、上郷小、桜井小が合同で授業研究会を開催しました。上郷小学校の1年生から6年生と個別支援級が「道徳」の授業を公開し、終了後に研究討議を行いました。

横浜市では敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校の教職員が情報交換や連携を行い、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することを目指すとともに、より分かりやすい授業展開ができるよう研究を進めています。

～全国学力学習状況調査の結果について～

平成26年度の全国学力学習状況調査（以下、調査）の本校3年生の結果について報告します。

この調査は義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握、分析して教育の成果と課題を検証しその改善をはかることを目的として実施されています。また、学校における児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることも目的です。

今年度の上郷中学校3年生（在籍数91名）の平均正答数と平均正答率を考察すると、個々の問題では県・国の平均を上まわる問題もありましたが、全体で見ると国語・数学とも県・国の平均にわずかながら及びませんでした。

平均正答率を見たときに、国語では資料を効果的に活用する設問や抽象的な語句を理解する設問に対してよい結果となりました。数学では単項式の除法や等式の性質と移項の設問に対してよい結果がでていました。問題形式の違いにおける平均正答率を見たときに、選択式や短答式の設問に対しては県・国の平均とそれほど変わらないのに対して、記述式の設問の正答率が低い結果になりました。記述式の設問は無解答にしている生徒が多かったことが原因の一つと思われます。

また、質問紙による意識調査の結果からは、「規範意識」「数学への関心」「言語活動・読解力」などは県・国の基準を上まわる高い意識をもっていることがわかりました。一方で生徒の「生活習慣」「総合学習的な学習への意識」については課題を残す結果となっています。今回の結果をふまえて、学校は基礎基本の定着をはかる授業のさらなる工夫をすると同時に、生徒一人ひとりが自分の生活を振り返り、家庭や地域との協力をいっそう充実させることが課題になると思います。